

目 次

第1章 総説

1 沿革	1
2 施設の概要	1
3 組織及び業務内容	2
4 歳入歳出決算	5
5 試験研究費等の推移	6
6 主な試験検査機器	7

第2章 業務の概要

1 企画情報部	11
2 保健科学部	14
3 衛生科学部	21
4 環境科学部	23
5 地球科学部	25
6 検査部	28

第3章 研究報告

1 研究体系	29
2 研究概要報告	
(1) 食品中のノロウイルス検出法に関する研究 保健科学部 上席専門研究員 佐藤 直人	33
(2) 食品中の放射性物質測定に関する研究 衛生科学部 主任専門研究員 佐々木 陽	34
(3) 医療機関との連携による薬剤耐性菌の解析 保健科学部 上席専門研究員 岩渕 香織	36
(4) 岩手県における小児呼吸器ウイルスの疫学に関する研究 保健科学部 上席専門研究員 高橋 雅輝	38
(5) 岩手県新人保健師研修の評価に関する研究 保健科学部 主査専門研究員 三浦 紀恵	40
(6) ウイルス媒介性節足動物（ヒトスジシマカ）の生息に関する研究 地球科学部 首席専門研究員兼部長 佐藤 卓	42
(7) WET手法を用いた水環境調査のケーススタディ 環境科学部 上席専門研究員 懸田 節	44
(8) 微小粒子状物質の発生源解明に関する研究 地球科学部 技師 小野寺 甲仁、専門研究員 小泉 英誉、専門研究員 鳴海 史、 上席専門研究員 多田 敬子、首席専門研究員兼部長 佐藤 卓	45
(9) 酸性雨による環境影響の総合的評価 地球科学部 技師 小野寺 甲仁、上席専門研究員 多田 敬子	47
(10) 新指標による岩手県内光化学オキシダント濃度の長期的評価 地球科学部 上席専門研究員 多田 敬子	48
(11) 麻痺性貝毒に関する機器分析法の研究 衛生科学部 技師 沼野 聡、主任専門研究員 佐々木 和明	50
(12) 下痢性貝毒に関する超臨界抽出法の妥当性に関する研究 衛生科学部 主任専門研究員 昆野 智恵子	52
(13) 糞便からの腸管出血性大腸菌(EHEC)検出法の検討 検査部 主査専門研究員 山中 拓哉、上席専門研究員 太田 美香子、 主任専門研究員 熊谷 学、部長 五日市 恵里	54

(14) 有機フッ素化合物に係る日中韓汚染状況比較及び生体影響解明等に関する研究-----	55
環境科学部 主査専門研究員 岩渕 勝己、部長 千崎 則正	
(15) PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質県内環境調査----	57
環境科学部 主査専門研究員 葉澤 やよい、部長 千崎 則正	
(16) 化審法関連物質の排出源及び動態の解明-----	59
環境科学部 主査専門研究員 岩渕 勝己、部長 千崎 則正	
(17) 希少植物の種の保存および地域資源としての活用に関する研究-----	61
地球科学部 上席専門研究員 小山田 智彰	
(18) イヌワシの生息数維持に向けた保全生態学的研究-----	63
地球科学部 上席専門研究員 前田 琢	
(19) ヘア・トラップ法によるツキノワグマの生息動向と個体数推定法の開発-----	65
地球科学部 主査専門研究員 山内 貴義	
(20) ニホンジカの個体数推定と将来予測に関する基礎的研究-----	67
地球科学部 主査専門研究員 山内 貴義	
3 研究課題の外部評価-----	71
4 資料	
(1) 感染症発生動向調査事業における病原体検出状況（平成28年度）-----	83
高橋 雅輝 岩渕 香織 佐藤 直人 白澤 彰 梶田 弘子	
(2) QFT検査の実施状況（平成28年度）-----	92
白澤 彰 岩渕 香織 佐藤 直人 高橋 雅輝 梶田 弘子	
(3) 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況（平成28年度）-----	94
岩渕 香織 高橋 雅輝 佐藤 直人 白澤 彰 梶田 弘子	
5 学術雑誌等掲載論文	
(1) 絶滅危惧植物コマクサの組織培養による大量増殖-----	99
小山田 智彰 山内 貴義 鞍懸 重和 川目 智之	
6 研究発表抄録-----	111
第4章 研究発表目録	
1 学術雑誌原著論文-----	133
2 総説・報告等-----	133
3 学会等での口頭発表-----	134
4 県民等に対する啓発活動の状況-----	136